

湊若越

～港の元気は福井の元気、地元の貨物は地元の港から～



目次

- ・敦賀港が開港120周年を迎えます **P1**
- ・平成30年度2次補正予算の概要 **P2**
- ・敦賀港に新たな定期航路が就航します
・敦賀港・福井港へのクルーズ船寄港予定 **P3**
- ・ケーソン製作現場見学会を開催しました
・シリーズみなとの祭り 敦賀まつり **P4**

◆敦賀港が開港120周年を迎えます

平成最後となる2019年は、1899年の敦賀港開港から120周年にあたります。

敦賀港は、古代より我が国と対岸諸国を結ぶ人文の交流拠点であり、江戸期以降には北前船の寄港地として栄えました。1899年7月の開港後、近代港湾として整備が進められ、国内鉄道～日本海航路～シベリア鉄道を經由してヨーロッパを結ぶ「欧亜国際連絡列車」の発着地となり、「人道の港」としてポーランド孤児やユダヤ人難民受入など歴史に名前を刻みました。1970年8月には現在の敦賀港を特徴づける北海道とのフェリー航路が始まり、その後開設したRORO航路と共に阪神・中京圏との国内物流を支えています。このほか、外資コンテナ船や外資RORO船定期航路、石炭等エネルギーの拠点として日本海側を代表する港湾となっています。

2019年4月からは、敦賀と博多を結ぶRORO船定期航路が新たに就航を予定しており、日本海定期航路のミッシングリンクを解消し、九州と近畿・中部・北陸、さらに北海道へもスムーズに繋ぐ国内物流の要衝として更なる発展が期待されています。※P.3に詳細

敦賀港120周年に向け、敦賀市、福井県、地元企業等により「敦賀港開港120周年記念実行委員会」が立ち上げられました。



現在の敦賀港（2018年10月撮影）



1970年に就航し、北海道と関西・中京圏の物流を支えるフェリー航路（1979年撮影）（敦賀市提供）



往時の敦賀港（1933年撮影）（敦賀市提供）



敦賀港開港120周年ロゴマークです！

- ・上下の青は、空と海。オランダ・ポーランド・イスラエル・リトアニアの国旗色をあしらい、国際色豊かな敦賀港をイメージしたロゴマークです。
- ・また、赤は気比の鳥居・赤レンガ倉庫・夕日、白は砂浜・市の鳥ゆりかもめ・立石岬灯台、青は海・空、緑は松原、黄色は花火など、各色には地元の意味合いも込められています。

【4カ国と敦賀のつながりとは？】



1920年 ポーランド孤児上陸

○ロシア革命のシベリアで家族を失った**ポーランド**孤児763人が、日本赤十字社などの救助により敦賀港に上陸

1940年 ユダヤ人難民上陸

- ナチスの迫害から逃れるため、ユダヤ人難民たちが、日本通過ビザを求めて**リトアニア**の日本領事館に押し寄せた。
- 当時、日本領事代理だった杉原千畝が「命のビザ」を発行。**オランダ**領事代理の動きもあり約6000人のユダヤ人難民が敦賀港に上陸した。
- 「杉原ビザ」受給者の一人で、ユダヤ教が多数派を占める**イスラエル**の参事官と再会。（1968年）



ポーランド孤児（敦賀市提供）



上陸を待つユダヤ人難民（敦賀市提供）

◆ 平成30年度北陸地方整備局関係2次補正予算の概要

1. 配分方針

平成30年度国土交通省関係第2次補正予算については、「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」、「中小企業・小規模事業者に対する支援」に加え、「その他喫緊の課題への対応」を行うための所要の経費が計上されました。

また、積雪寒冷地域などの地域の実情に応じた公共事業の発注措置として、「国庫債務負担行為（いわゆるゼロ国債※）」が設定されました。

配分にあたっては、地域の実情や地方公共団体の要望、重要インフラの緊急点検の結果等を勘案しつつ、高い緊急性と効果が認められる事業に重点をおき、配分が行われたものです。

このうち北陸地方整備局では、補正予算（歳出）として約827億円が配分された他、ゼロ国債として約86億円が設定されました。

なお、ゼロ国債については、平成30年度当初に約97億円が設定されており、今回設定されるゼロ国債をあわせると、約183億円となります。

※）ゼロ国債：当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能となる国庫債務負担行為

2. 予算規模（北陸地方整備局関係）

	(2次補正(歳出))	(ゼロ国債)	(合 計)
補正予算全体	827億円	86億円	913億円
直轄事業	335億円	86億円	421億円
補助事業	491億円	0億円	491億円

国土交通省関係予算の概要、事業実施箇所の当初配分については、国土交通省HPをご覧ください。

URL：http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_001408.html

3. 主要事業一覧（福井県関係を抜粋）

区分	事業名		市町村名	実施内容	平成30年度補正（歳出） （百万円）
港湾	敦賀港	鞠山北地区緊急貨物輸送ターミナルに関する緊急対策	敦賀市	耐震強化岸壁の整備	210
港湾	敦賀港	鞠山南地区内貿ユニットロードターミナルに関する緊急対策	敦賀市	岸壁の整備	2,300

【事業箇所】



◆日本海側の海上輸送網のミッシングリンク解消へ！敦賀港に新たな定期航路が就航します

○近海郵船(株)は、モーダルシフトの促進及び既設航路である「敦賀港－苫小牧港」と新規航路を接続することにより、九州－北海道間に最速・高頻度の海上ルート新輸送サービスを提供することを目標とし、RORO船新規定期航路「敦賀港－博多港」を開設すると発表しました。

○新規航路は、2019年4月より週3便で運航を開始し、同年夏頃には日曜日を除く週6便体制に移行する予定です。

○日本海側で九州と本州を繋ぐ現行航路はなく、海上輸送網のミッシングリンクを解消する航路としても注目されています。



2019年春・敦賀⇔博多 新規航路開設
九州/関西・中部・北陸を中1日
九州/北海道を中2日で配送可能！

北海道と九州の接続

○苫小牧発 最速パターン



○博多発 最速パターン



なつ (2019年4月より就航)

新規航路で使用されるRORO船の船舶概要

名称	全長 (m)	航行速度 (ノット)	総トン数 (t)	車両積載能力 (台)	
				トレーラー	乗用車
なつ	167.72	21.7	8,348	120	150
とかち	167.7	23.7	9,858	128	103

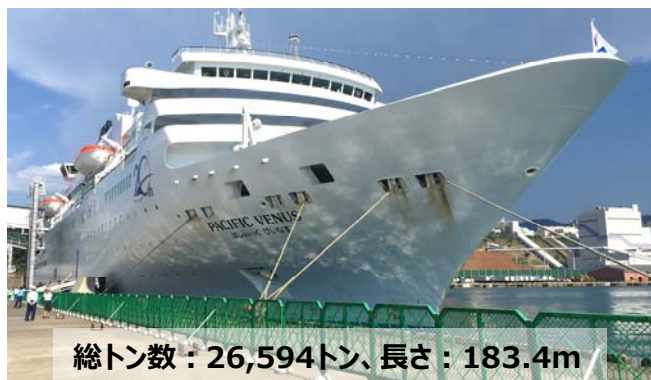


とかち (2019年7月より就航)

◆2019年 敦賀港・福井港へのクルーズ船寄港予定をお知らせします

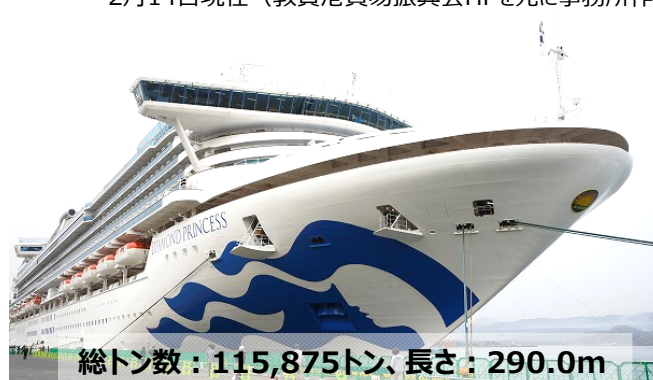
発着	船名	クルーズ名	スケジュール
博多発－敦賀着	ぱしふいっくびいなす	夏休み隠岐島・敦賀クルーズ 3日間 博多－隠岐島(浦郷)－敦賀	7/30(火)～8/1(木)
敦賀発－敦賀着	ぱしふいっくびいなす	竿燈・ねぶた東北二大祭りクルーズ 敦賀－輪島－秋田－青森－敦賀	8/1(木)～8/6(火)
福井発－敦賀着	ぱしふいっくびいなす	豪華客船「ぱしふいっくびいなす」で行く山陰の旅 福井－境－敦賀	9/13(金)～9/15(日)
横浜発－横浜着	ダイヤモンドプリンセス	秋空の日本 美食の地巡りと韓国10日間 横浜－秋田－新潟－敦賀－境－釜山－清水	11/12(火)～11/21(木) ※敦賀寄港は11/16(土)

2月14日現在 (敦賀港貿易振興会HPを元に事務所作成)



総トン数：26,594トン、長さ：183.4m

「ぱしふいっくびいなす」



総トン数：115,875トン、長さ：290.0m

「ダイヤモンドプリンセス」

◆若手技術者の経験値アップ！ケーソン製作現場見学会を開催しました

2019年2月13日（水）、敦賀港において、若手技術者が建設現場に触れ、ケーソン製作工事の一連の流れを理解することを目的とした現場見学会を開催しました。

敦賀港では鞠山南地区岸壁（水深14m）延伸に用いるケーソン（2,137t / 函）の製作工事を実施しています。ケーソンとは、重力式の防波堤や岸壁をつくる際に使われる鉄筋コンクリート製の箱のことで、港湾整備においては一般的な構造物で敦賀港の整備にもたくさん用いられています。

見学会では、座学でケーソン製作の手順を確認したあと、現場に出てコンクリート打設や鉄筋組立の作業を見学しました。

今回のケーソンは2月中に製作工事を終え、3月中旬頃進水仮置の予定です。敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナル拡張事業の進捗を図るため、引き続き工事の安全をしっかりと確保し、無事故無災害で完成を目指します。

※ FDとは？

- ・フローティングドック（Floating Dock）の略
- ・ケーソン製作に用いられることが多く、ケーソンドックとも呼ばれます。
- ・凹字型をした台船で、多数に仕切られた内部のタンクに注排水することにより沈下、浮上出来ます。
- ・この機能により、浮上した状態でケーソン製作した後、注水して沈下することで、ケーソン進水が可能です。



鉄筋の組み立て状況を見学



コンクリート打設を間近で見学



見学会終了後、FD※をバックに集合写真

祭 シリーズみなとの祭り4 敦賀港 敦賀まつり 祭

本シリーズの第四弾は、港と鉄道のまち敦賀、北陸道総鎮守氣比神宮例大祭「敦賀まつり」の紹介です。



↑ 氣比神宮前に整列した神輿
背後の鳥居は日本三大大木造大鳥居の一つ



← 祭りの見所「山車」

※写真敦賀市HP
今回は悪天候で中止、次回に期待！

敦賀港は古代から大陸との交流拠点として内外に存在を知られていました。その敦賀に位置する氣比神宮の主祭神伊弉沙別神が航海の安全守護として大切にされてきたものと容易に想像されます。祭りは例年9月4日。大宝2（西暦702）年社殿創建の日になんだ例大祭として行われています。9月2日宵宮から9月15日月次祭までが期間とされ「氣比の長祭り」とも呼ばれます。

例年、宵宮に舞台を持つ屋台「宵山」で日本舞踊が奉納され、翌日からの御鳳輦と山車の巡幸をメインに、市民参加のパレードなどが行われます。山車は本物の能面甲冑をまとった人形で戦国合戦を再現し華麗な水引幕とともに祭りの見所です。各町の神輿が威勢の良い掛け声で元気に担がれ御鳳輦とともに市内巡幸。今回はニコニコ動画のイベント「ニコニコ町会議」も開催。伝統と文化に根ざしたサイバーな敦賀まつりも情報発信され新時代を予感させるものでした。

氣比神宮ではこのほか、ご神体が船で敦賀湾を渡り、常宮神社にお参りするお旅所神事「総参祭」が7月22日に行われています。「総参祭」は氣比神宮から常宮神社へ仲哀天皇が妻である神功皇后へ会いに行く神様のデートとも言われています。敦賀の漁業関係者にとっても豊漁と海上安全を祈る大切なお祭りです。

☆☆ 氣比神宮は創建された当時から高い社格を誇り北陸道総鎮守の称号も。本殿へは朝5時～夕5時の間に参詣可能。
敦賀まつりでは境内から本町周辺（旧国道8号）に多数の露店が連なり、お楽しみの一つになっています。
北陸自動車道敦賀ICより車で10分 JR北陸本線敦賀駅から徒歩15分バス5分（氣比神宮前停留所降車）

From
Editors

●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

HP: <http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>

〒914-0065

福井県敦賀市松栄町7番28号 敦賀地方合同庁舎3階

TEL: 0770-22-2590

FAX: 0770-21-8101

※当事務所の福井港分室は、福井港海岸直轄海岸保全施設整備事業の完了に伴い、平成30年3月末日をもって閉庁いたしました。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと

0120-497-370

※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

